

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	(1) 授業改善により確かな学力の向上を目指す。 (2) 外部機関との連携により支援を的確に行う。	(1) 生徒の実態や多様な学習ニーズに対応した柔軟な教育課程の研究を推進する。 (2) 教科会を通じアクティブラーニングの視点を踏まえた授業改善を推進し、基礎基本的な学力の定着と学習意欲の向上を図る。	(1) ①柔軟な教育課程の編成に向け、全教科で見直し・改善を図る。 ②学校行事等の見直しを図り、学習の「量」を確保する。 ③3修制を希望する生徒の卒業率をあげるための支援を行う。 (2) ①ICTの活用やグループ学習等を導入した授業研究を進める。 ②授業において基礎基本的な学力の定着を図るとともに、主体的な学びを通じ、思考力等の育成を図る。 ③各教科「定期テストの共通化」の実施に向けた検討を進め、教育の質の向上と共通性の確保に努める。	(1) ①教育課程の見直し・改善が図れたか。(担当者による評価) ②年間の授業時数を増やすことができたか。(年間授業時数調査) ③3修制を希望する生徒の卒業率をあげることができたか。(卒業生数の推移) (2) ①組織的な授業改善ができたか。(担当者による評価、生徒による授業評価アンケート) ②生徒の基礎学力、思考力等を伸ばす授業ができたか。担当者による評価、生徒による授業評価アンケート) ③共通テストが実施できたか。(共通テストの実施率)					
2 生徒指導 ・支援	(1) 規範意識を身に着けた円満な人格形成をする。 (2) 健康に留意し心身の調和的発達を目指す。	(1) 全職員体制で、きめ細やかで粘り強い生徒指導に取組み、生徒の規範意識や基本的な生活習慣の育成を図る。 (2) 生徒の自立に向けた支援体制を組織的に行い、自己肯定感や自己有用感を育む。	(1) ①授業中の携帯電話使用や二足制の遵守等、生徒のマナーやモラルの向上に向け、職員間で統一した指導を行う。 ②巡回指導と生徒への声掛けを通じ、問題の未然防止に努める。 ③本校の「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止に努め、円滑な人間関係の構築に向けた支援をする。 (2) ①スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールメンター、及び外部機関と積極的に連携しながら、様々な課題を抱える生徒に対する支援を組織的に行う。 ②学校行事や部活動等への主体的な取組みを促進し、教科外活動の充実を図る。	(1) ①生徒が基本的な生活習慣を身に付け、ルールを守り、学校生活を送ることができたか。(特別指導件数の推移) ②巡回指導を通じ、問題行動を未然に防ぐことができたか。(特別指導件数の推移) ③速やかな情報収集と早期対応ができたか。(担当者による評価) (2) ①職員全体で生徒の状況を把握し、組織的な支援ができたか。外部と連携できたか。(担当者による評価) ②生徒の学校行事や部活動等に対する自主性・主体性を高めることができたか。(担当者による評価、部活動加入者数による推移) ③日本語を母語としない生徒に対して支援ができたか。(担当者による評価、生徒対象ア					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				③多文化教育コーディネーターや学習サポート支援員等と連携し、日本語を母語としない生徒の支援を推進する。 ④インクルーシブ教育に向けた準備を更に進めていく。	ンケート) ④研修や外部連携ができたか。(担当者による評価)					
3	進路指導・支援	(1) 外部機関と連携し、外国につながる生徒等のキャリア支援体制づくりに取り組む。	(1) 進学希望の生徒のニーズに応じた取組みを推進する。 (2) 計画的・系統的な実践を通じ、生徒に職業観・勤労観を身に付けさせ、自らの意志で自己の将来を設計する能力を育成する。	(1) ①進学希望者に対して夏季集中講座や補習等、進路実現に向けた取組みを充実させる。 (2) ①コンソーシアムサポーターと連携し、インターンシップや会社見学、上級学校見学を通じ、勤労観、職業観を育成する。 ②外部機関との連携等による支援教育を積極的に行い、生徒の人間関係育成能力やコミュニケーション能力を育む。	(1) ①生徒に的確な情報提供、進路指導を行うことができたか。(担当者による評価) ②進路決定者の割合が増加したか。(進学率の推移、生徒対象アンケート) (2) ①外部機関による説明会や就業体験学習(インターンシップ)を効果的に実施できたか。(担当者による評価、生徒対象アンケート)					
4	地域等との協働	(1) 地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組む。	(1) 家庭・地域と連携し問題の未然防止や早期対応に努め、「協働」「共育」により安心安全な学校づくりを目指す。	(1) ①HPやメール配信システム等を通じ保護者や地域に対し、情報発信を速やかに行い、教育活動の見える化を図る。 ②保護者・地域・警察等と連携し、問題の未然防止に向けた取組みを強化する。 ③地域パトロールや美化活動等、地域貢献活動を積極的に行う。 ④保護者、地域等との協働による行事を実施し、共に育む体制を構築する。	(1) ①ホームページの更新がスムーズにできたか。速やかに情報発信できたか。(担当者による評価) ②保護者・地域・警察等と連携し、問題の未然防止ができたか。(担当者による評価) ③地域貢献活動ができたか。(実施状況) ④地域や保護者との協働による教育活動ができたか。(担当者による評価)					
5	学校管理 学校運営	(1) 常に安全・安心で快適に学べる教育環境の整備に努める。	(1) 事故・不祥事防止に努め、地域・保護者に信頼される学校づくりを推進する。 (2) 生徒の防災意識を高め、安全策強化に努める。	(1) ①事故・不祥事防止研修等を通じ、職員全体が高い意識を持つとともに、風通しの良い職場環境を整える。 ②入学者選抜、成績処理、調査書作成、会計処理等について点検体制の見直しを図り、一層の事故防止に努める。 ③生徒の個人情報の適切な管理の徹底を図る (2) ①地域等と連携し、防災教育を推進するとともに、防災マニュアルについて必要な改善を行う。	(1) ①研修等を通じ、職員の意識を高めることができたか。(担当者による評価) ②点検体制を強化し、事故・不祥事ゼロを実現できたか。(担当者による評価) (2) 生徒に対する防災教育を実施できたか。(担当者による評価)					